

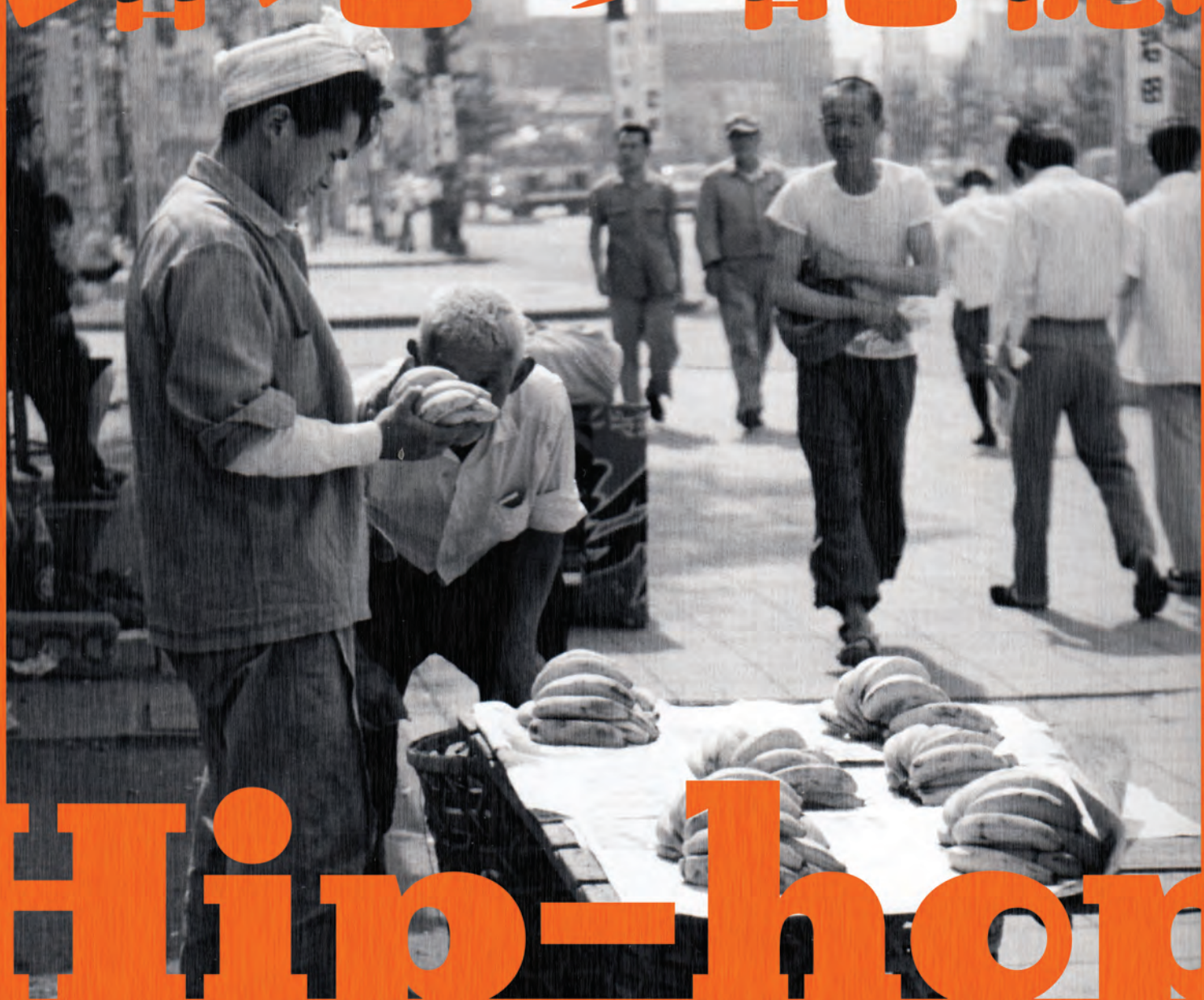
2024.7.1MON-2025.3.31MON

KAWASAKI
CITY
MUSEUM



オンライン展覧会

路地の記憶



昭和30年代の川崎のようす(二思案)、川崎市市民ミュージアム所蔵

Hip-Hop

ヒップホップ的なるものの社会史

MEMORIES OF THE STREETS, HIP-HOP CULTURE FREESTYLE, GRAFFITI, SCRATCH
MURAL ART, SKATEBOARD, BREAKING, BMX, DJ, KAWASAKI, EXAMPLE.COM

<https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>

路地の記憶

ヒップホップ的なるものの
2024.7.1MON-2025.3.31MON 社会史

2024年7月開催のパリオリンピックでは、追加競技としてアーバンスポーツのひとつであるブレイキンが初採用されました。JR武蔵溝ノ口駅前には、世界トップクラスのダンサーが練習していることからブレイキンの聖地として知られ、川崎市はブレイキンをはじめ若者文化のバックアップを推進しています。

これらを踏まえ、近現代日本における「路地」(ストリート)に焦点を当て、そこから生まれた文化を歴史的にたどる展示を行います。戦前期の日本の都市で庶民に人気であった娯楽や、戦後の高度経済成長における若者文化、アメリカでのヒップホップ文化の誕生とそれらの日本への流入・定着、そして現在の川崎におけるストリートカルチャーの一端までを、大きなひとつの流れとして紹介します。世界的な文化となったストリートカルチャー及び近現代日本社会の文化的発展を、川崎地域を軸にして探っていきます。



昭和30年代の川崎市球場
(川崎市市民ミュージアム所蔵)



ISF KAWASAKI 2021「SUPER BREAK」の様子 ©2021 IAM



TECHNICS SL-1200
(個人蔵)



戦前の不良少年に関する研究書
「不良少年になるまで」郷津茂樹 1923年、「不良児」草間八十雄 1936年 (個人蔵)



「浅草公園浅草の塔」田口米作 1890年
(川崎市市民ミュージアム蔵)

関連企画

詳しくはWebページをご覧ください。
(<https://www.kawasaki-museum.jp/exhibition/29641/>)

川崎市市民ミュージアム講座

事前申込制

講師 霜村 光寿(歴史分野担当学芸員)
開催日 2024年11月2日(土)
会場 川崎市本庁舎 復元棟205会議室



◀本展は川崎市市民ミュージアムWebサイト内の
「the 3rd Area of "C"-3つめのミュージアム-」でご覧いただけます

無料・申込不要

[URL] <https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea>



第1章 戦前日本の路地の記憶

第2章 路地の文化
— 社会の成熟とヒップホップの定着まで —

第3章 21世紀のストリート
— 世界はカワサキをめさす —

【会期】2024年7月1日(月)10時~2025年3月31日(月)15時
【主催】川崎市市民ミュージアム
電話: 044-712-2800 (8:30~17:15、土日祝・年末年始を除く)
mail: 25museum@city.kawasaki.jp